

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日																							
登録診療科	婦人科	申請医師																							
レジメン名	BEP(卵巣がん)(ホスアプレビタント)																								
疾患名	卵巣がん	適応の備考	適応は卵巣がん(胚細胞腫瘍)のみ																						
適応分類																									
1コース日数	21 日間	総コース数	コース 催吐性リスク day1-5:高度、day9.16:最少度																						
抗がん剤投与量・投与日 シスプラチン20mg/m ² day1-5、プレオ20mg/m ² day2.9.16、エトポシド100mg/m ² day1-5																									
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)																									
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	ソルアセトF500mL	2 本 / body	4 時間	●	●	●	●	●																
	点滴静注		/	/																					
2	側管	生食250mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body	30 分	●																				
3	側管	ハロ/セトロン注ハック0.75mg	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																				
		デキサート注1.65mg	2 本 / body			●																			
4	側管	生食50mL	1 本 / body		●				●																
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●				●																
5	側管	生食50mL	1 本 / body						●	●															
	点滴静注	デキサート注6.6mg	2 本 / body	30 分					●	●															
6	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																
	点滴静注	シスプラチン注	20 mg / m ²	2 時間	●	●	●	●	●																
シスプラチンと同量の生食を抜いて混注する																									
7	主ルート	ソルアセトF500mL	1 本 / body	2 時間	●	●	●	●	●																
	点滴静注		/	/																					
8	主ルート	生食100mL	1 本 / body	15 分										●								●			
	点滴静注		/	/																					
9	側管	生食250mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	プレオ注	20 mg / m ²	60 分	●									●								●			
day9.16は主ルート (day1はソルアセトFと併行投与) 投与量の上限は30mg/body(総投与量は360mg/bodyまで)																									
10	側管	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●	●																
	点滴静注	エトポシド注 (ソルアセトFと併行投与)	100 mg / m ²	2 時間	●	●	●	●	●																
100mgあたり、250mLの生食または5%ブドウ糖液に混和する																									
11	主ルート	ソルアセトF500mL	1 本 / body	2 時間	●	●	●	●	●																
	点滴静注	プロセド注 20mg	1 A / body		●	●	●	●	●																
12	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分										●									●		
	点滴静注		/	/																					
13		デカドロン錠	8 mg / body							●	●														
	経口投与		/	/																					
分2朝食後																									

【投与上の注意】

- ・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
 - ・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
 - ・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- エトポシド:DEHPフリー点滴セット使用。
シスプラチン:希釈は生食のみ。
シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。
シスプラチン:適宜利尿剤を投与